

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 30日

栃木県知事
福田 富一 様

提出者

住 所 栃木県日光市今市1525番地

氏 名 磯部建設株式会社

取締役社長 磯部 尚士

電話番号 0288-22-5111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	磯部建設株式会社
事業場の所在地	栃木県日光市今市1525番地
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	一般土木建築工事業 [0611]
② 事業の規模	元請完成工事高 27億円/年
③ 従業員数	80名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	排出量	別紙3のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	排出量	別紙3のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4のとおり		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙4のとおり
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙4のとおり

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4のとおり		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
(今後実施する予定の取組) 別紙4のとおり			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4のとおり		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	全処理委託量	別紙3のとおり t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙3のとおり t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙3のとおり t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙3のとおり t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙3のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	全処理委託量	別紙3のとおり t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙3のとおり t	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙3のとおり t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙3のとおり t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙3のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4のとおり		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



図1.廃棄物の発生フロー図

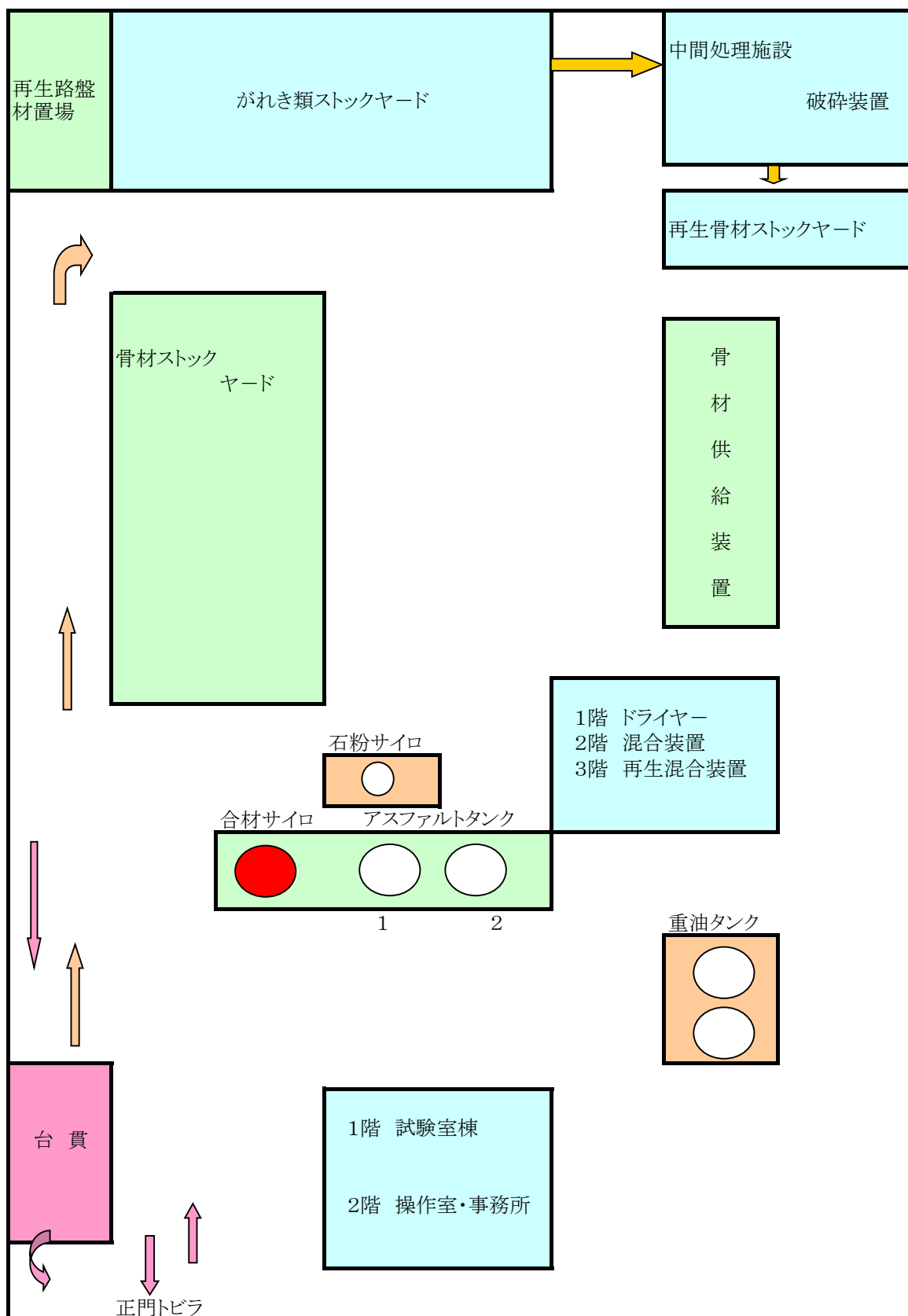


図2. 中間処理工場配置図

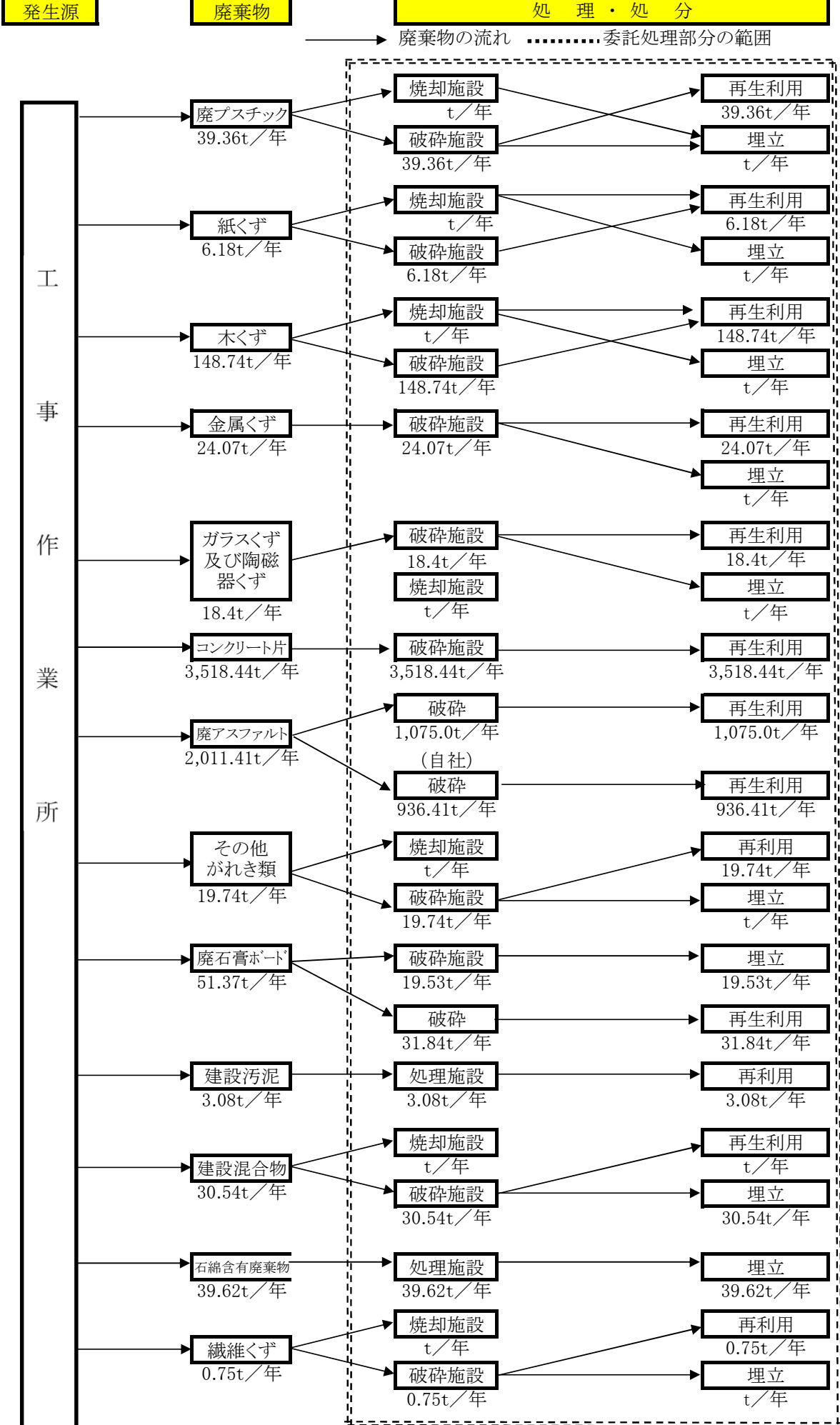


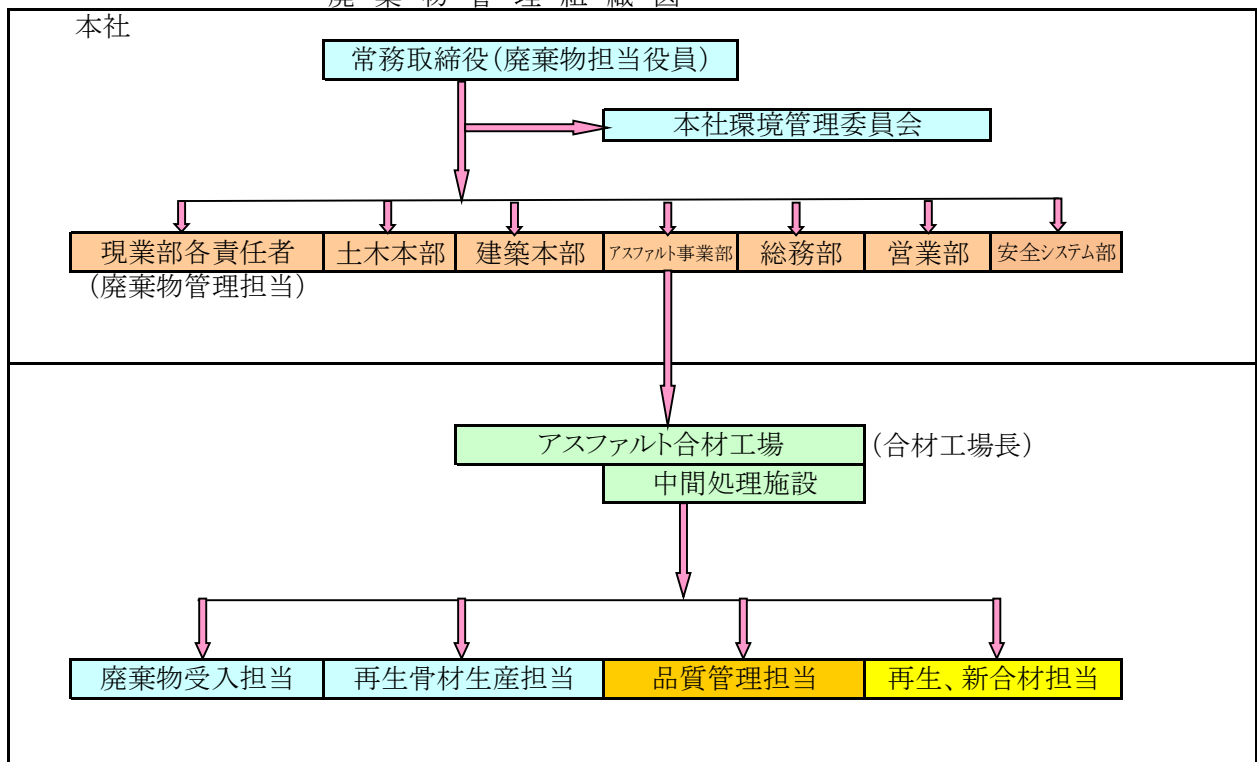
図3.廃棄物の処理フロー図(現状)

< 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 >

管理体制図

統括責任者		所属:磯部建設株式会社 職名:取締役
廃棄物担当者		組織名:現業部廃棄物管理責任者 土木本部長、建築本部長、合材工場長、アスファルト事業部長
役割	現業各現場環境 管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 廃棄物に関する検討 ○ 廃棄物の発生制御、再生利用、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・委員長常務取締役-委員-各関連部署、次長、課長、合材工場長 ・事務局-関連部署事務係
	廃棄物処理 統括責任者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 廃棄物処理法補方法方針の策定 ○ 工場の廃棄物管理規定の策定・改廃 ○ 廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	廃棄物管理 担当次長、課長	<ul style="list-style-type: none"> ○ 廃棄物処理計画の作成 ○ 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○ 産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○ 処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○ 委託契約の締結 ○ 産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理票の交付・管理 ○ 監督官庁への各種報告 ○ 社員、関連会社に対する教育・啓発 ○ その他に係る事項

廃棄物管理組織図



別紙 3-1

廃棄物の種類及び 実績、目標の別 排出・処理 の区分	廃プラスチック類		紙くず		木くず	
	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)
排出量	39.36	39.00	6.18	6.00	148.74	148.00
自己再生利用量	0	0	0	0	0	0
自己熱回収量	0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化量	0	0	0	0	0	0
自己埋立処分又は海洋 投入処分費	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	39.36	39.00	6.18	6.00	148.74	148.00
優良認定処理業者へ の処理委託量	30.25	39.00	5.28	6.00	33.28	148.00
再生利用業者への処 理委託量	39.36	39.00	6.18	6.00	148.74	148.00
認定熱回収業者への 処理委託量	—	—	—	—	—	0
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0	0	0	0	0	0

廃棄物の種類及び 実績、目標の別 排出・処理 の区分	金属くず		ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず		がれき類 (コンクリート片)	
	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)
排出量	24.07	24.00	18.40	18.00	3,518.44	3,518.00
自己再生利用量	0	0	0	0	0	0
自己熱回収量	0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化量	0	0	0	0	0	0
自己埋立処分又は海洋 投入処分費	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	24.07	24.00	18.40	18.00	3,518.44	3,518.00
優良認定処理業者へ の処理委託量	24.07	24.00	2.20	18.00	6.22	3,518.00
再生利用業者への処 理委託量	24.07	24.00	18.40	18.00	3,518.44	3,518.00
認定熱回収業者への 処理委託量	—	0	—	0	—	0
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0	0	0	0	0	0

別紙 3-2

廃棄物の種類及び 実績、目標の別 排出・処理 の区分	がれき類 (廃アスファルト)		がれき類 (その他)		廃石膏ボード	
	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)
排出量	2,011.41	2,011.00	19.74	19.00	51.37	51.00
自己再生利用量	0	0	0	0	0	0
自己熱回収量	0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化量	1,075.00	1,075.00	0	0	0	0
自己埋立処分又は海洋 投入処分費	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	936.41	936.00	19.74	19.00	51.37	51.00
優良認定処理業者へ の処理委託量	15.10	936.00	4.94	19.00	13.91	51.00
再生利用業者への処 理委託量	936.41	936.00	19.74	19.00	51.37	51.00
認定熱回収業者への 処理委託量	—	0	—	0	—	0
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0	0	0	0	0	0

廃棄物の種類及び 実績、目標の別 排出・処理 の区分	建設汚泥		繊維くず		建設混合廃棄物	
	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)
排出量	3.08	3.00	0.75	0.00	30.54	30.00
自己再生利用量	0	0	0	0	0	0
自己熱回収量	0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化量	0	0	0	0	0	0
自己埋立処分又は海洋 投入処分費	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	3.08	3.00	0.75	0.00	30.54	30.00
優良認定処理業者へ の処理委託量	—	3.00	0.00	—	0.91	30.00
再生利用業者への処 理委託量	3.08	3.00	0.75	—	30.54	30.00
認定熱回収業者への 処理委託量	—	—	—	—	—	—
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	—	—	—	—	—	—

別紙 3-3

廃棄物の種類及び 実績、目標の別 排出・処理 の区分	石綿含有廃棄物					
	実績[t]	目標[t]	実績[t]	目標[t]	実績[t]	目標[t]
	(R4年度)	(R5年度)	(R3年度)	(R4年度)	(R3年度)	(R4年度)
排出量	39.62	39.62				
自己再生利用量	0	0				
自己熱回収量	0	0				
自己中間処理減量化量	0	0				
自己埋立処分又は海洋 投入処分費	0	0				
全処理委託量	39.62	39.62				
優良認定処理業者へ の処理委託量	3.40	39.62	-	-	-	-
再生利用業者への処 理委託量	39.62	39.62	-	-	-	-
認定熱回収業者への 処理委託量	-	-	-	-	-	-
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	-	-	-	-	-	-

別紙 4-1

＜産業廃棄物の排出の抑制に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃プラ類	不必要に材料を購入しないように数量確認を行った。	不必要に材料を購入しないように数量確認を行う。
紙くず	工事現場で発生する紙くずについて、資機材の梱包材としての紙くずが多量に発生するため、製品を出庫する時最小限の梱包とすることを依頼した。	工事現場で発生する紙くずについて、資機材の梱包材としての紙くずが多量に発生するため、製品を出庫する時最小限の梱包とすることを依頼する。
木くず	工事の設計内容を照査し、可能な限り木くず(伐採)が発生しない工法へと変更協議した。	工事の設計内容を照査し、可能な限り木くず(伐採)が発生しない工法へと変更協議する。
金属くず	仮設電線等の再利用 繰り返し使用の励行した	仮設電線等の再利用 繰り返し使用の励行
ガラスくず、 コンクリートくず、 及び陶磁器くず	工事現場の仮設道路等の路盤材として利用(現場内利用を優先する)協議を行った。	工事現場の仮設道路等の路盤材として利用(現場内利用を優先する)
がれき類 (コンクリート片)	コンクリート等の取り壊しを最小限とするため、設計変更協議を起こした。	コンクリート等の取り壊しを最小限とするため、設計変更協議を起こす。
がれき類 (廃アスファルト)	—	—
がれき類 (その他)	—	—
石膏ボード	—	—
建設汚泥	—	—
廃油	—	—
建設 混合廃棄物	ごみの分別回収を行い、混合廃棄物を減量した。	ごみの分別回収を行い、混合廃棄物を減量する。
廃石綿等		—

別紙 4-2

<産業廃棄物の分別に関する事項>

	分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組	今後実施する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組
廃プラ類	分別BOX(1t土のう袋)を設置して、廃プラ、紙、木、金属を分別し、多量の物については、集積場所を分けて分別した。	分別BOX(1t土のう袋)を設置して、廃プラ、紙、木、金属を分別する。多量の物については、集積場所を分けて分別する。
紙くず	同上	同上
木くず	同上	同上
金属くず	同上	同上
ガラスくず、 コンクリートくず、 及び陶磁器くず	—	—
がれき類 (コンクリート片)	—	—
がれき類 (廃アスファルト)	—	—
がれき類 (その他)	—	—
石膏ボード	—	—
汚泥 (建設汚泥)	—	—
廃油 (一般廃油)	—	—
建設 混合廃棄物	現場の状況により、場内で分類・集積した。	現場の状況により、場内で分類・集積する。
石綿含有廃棄物	—	—

別紙 4-3

＜自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃プラ類	—	—
紙くず	—	—
木くず	—	—
金属くず	—	—
ガラスくず、 コンクリートくず、 及び陶磁器くず	—	—
がれき類 (コンクリート片)	—	—
がれき類 (廃アスファルト)	破砕処理により再生骨材にし再生合材の骨材として 再利用した。	破砕処理により再生骨材にし再生合材の骨材として 再利用する。
がれき類 (その他)	—	—
石膏ボード	—	—
汚泥 (建設汚泥)	—	—
廃油 (一般廃油)	—	—
建設 混合廃棄物	—	—
石綿含有廃棄物	—	—

別紙 4-4

<自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項>

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃プラ類	—	—
紙くず	—	—
木くず	—	—
金属くず	—	—
ガラスくず、 コンクリートくず、 及び陶磁器くず	—	—
がれき類 (コンクリート片)	—	—
がれき類 (廃アスファルト)	破砕処理により再生骨材にした。	破砕処理により再生骨材にする。
がれき類 (その他)	—	—
石膏ボード	—	—
汚泥 (建設汚泥)	—	—
廃油 (一般廃油)	—	—
建設 混合廃棄物	—	—
石綿含有廃棄物	—	—

別紙 4-5

＜産業廃棄物の処理の委託に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃プラ類	39.36tを再生利用業者への処理を委託した	再生利用業者への委託量を増加させる。
紙くず	6.18tを再生利用業者への処理を委託した	同 上
木くず	148.74tを再生利用業者への処理を委託した	同 上
金属くず	24.07tを再生利用業者への処理を委託した	同 上
ガラスくず、 コンクリートくず、 及び陶磁器くず	18.4tを再生利用業者への処理を委託した	同 上
がれき類 (コンクリート片)	コンクリート片3,518.44tを破砕処理委託により再生骨材にした。	破砕処理委託により再生骨材にする。
がれき類 (廃アスファルト)	廃アスファルト936.41tを破砕処理委託により再生骨材にした。	破砕処理委託により再生骨材にする。
がれき類 (その他)	19.74tを再生利用業者への処理を委託した	破砕処理委託により再生利用する。
石膏ボード	31.84tを再生利用業者への処理を委託した	破砕処理委託により再生利用する。
汚泥 (建設汚泥)	—	—
建設 混合廃棄物	—	—
石綿含有廃棄物	—	—